

2021年度事業報告

概要

<奨学生選抜>

2021年5月に募集要項を作成・送付・ウェブサイト掲載した。全国の約400校に送付し、いくつかの高校には進路指導担当教諭にメールで連絡した。また、募集について広報活動を行った。2021年9月から10月にかけて2022年夏に派遣する奨学生の選抜試験を行い、昨年より35名増の133名の応募者があり、内4名は応募資格を満たしておらず有効な応募者129名の中から10名を奨学生として選抜した。リベラルアーツ大学限定枠への応募者数は97名であった。新たにネット出願システムを導入した。

<広報>

広報テーマ「在校生と受験生をズームで結ぶ」「親近感」に沿って、広報インターン7名が中心となり、募集要項説明会、在校生座談会、在校生Open House、インスタグラム配信などを実施し、提携校の協力を得て大学の合同説明会も行った。

<募金>

受け取り寄付金合計は前年度比約28万円減の約4730万円となった。卒業生及びその他一般の支援者からの寄付額は大幅に増加した前年度に比べ約28万円減少し約730万円となった。目標としている参加率20%である35名達成に向けて年末にかけて寄付参加を卒業生にメールで呼びかけた。実績は目標の半分である17名であった。その他、大口支援者に関しては奨学生の近況レポートを送付し、今年度も継続して変わらぬ多大な支援をいただいた。

<資金運用>

資金フローは基本的に支出が収入を上回る状況にあり、手元資金（預金、MMF）を多めに持ち基本財産以外の債券投資では満期5年以上の債券への投資は避ける方針を継続した。今年度償還を迎えた円債の利回りは1.5%であるのに対して新たに組み入れたものは0.6%であり、2022年度以降利回り低下の影響は避けられない。

<奨学金給付>

奨学生22名に対して5,995万円（前年度22名に5,473万円）の奨学金支出を行った。前年度比増加の主因は一人当たりの奨学金支給額の増加による。